

いまもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司
メールアドレス：info@ogiharakenji.com
連絡先：042-705-5119 (ファックスも同じ)

おぎはら健司の市政レポート

平成26年度決算審査始まる！

去る8月27日から、座間市議会平成27年第3回定例会がスタート致しました。この議会は平成26年度の決算審査が主な内容となります。

平成26年度の座間市の財政状況は、歳入総額374億5,156万6,561円、歳入総額368億4,803万466円、財政調整基金への積立や市債の繰上げ償還分などの実質的な黒字要素と、実質的な赤字要素である財政調整基金の取り崩し額を差し引いた「実質単年度収支」は572万3千円のプラスで、前年度と比較して3億7,515万円余の大幅減となりましたが、5年続けて黒字となりました。

大幅減の理由は明白で、早い段階で当該年度予算の不要額を明らかにし、それを財源として翌年度（平成27年度）に実施予定であった事業、小中学校へのエアコン設置事業や芹沢公園用地の土地取得などを前倒しして実施したことによるもので、職員が一丸となって努力をされたものと評価したいと思います。

予算編成の際にも報告いたしましたが、平成26年度は投資的経費を大幅に増加させたことが特長といえます。相模が丘地区で言えば、なかよし小道の再生整備が完了した年であり、3丁目に所在するなかよし広場のフェンス改修工事、さらには小田急相模原駅前西地区市街地再開発事業が認可されて組合が設立されたことなど、明るいニュースも多い年となりました。

歳入の構成は自主財源（地方自治体が自主的に調達できる財源）は歳入全体の56.7%と対前年比0.3%減少しておりますが、金額ベースでは1.7%増の212億2,109万円余と増加しています。以前にも触れた通り、平成26年度は（27年度もそうですが）国や県の支出金を最大限活用した積極的な予算編成となっている事が、要因になっていると分析できます。

詳細の分析については次号以降にてご報告させて頂きたいと思っております。

忙中、閑あり？！

8月20日に閉幕した「全国高校野球選手権大会」に神奈川県代表として出場した「東海大学付属相模高等学校野球部」が、夏の大会としては45年ぶりとなる全国制覇を果たした事は皆さんの記憶にも新しいと思えますが、福島県代表の聖光学院との試合の応援に0泊2日の弾丸ツアーで甲子園まで行き、45年前の東海大相模高校の旗の前で記念撮影を致しました！

同校の甲子園出場が決定すると相模が丘地区の市議は地元応援委員会の顧問を仰せつかるのが慣例で、去年に引き続き顧問を拝命し、支援金にご協力頂ける企業等を紹介いたしました。

準決勝の関東第一高校との試合の際「テレビ局が取材に来るから来てくれないか」と声がかかり応援事務所に伺い、他の皆さんと一緒にNHKのインタビューを受けましたが、光栄にも私の映像が使われたらしく知人から「テレビ見たよ！」と何件も連絡がありました。

いずれにしても、オダサガを利用する高校の快挙を心から祝福したいと思います！

